

広報

わかさ

Public relations WAKASAKI

6

2012
No.86



「これで田植えの目印つけるんだ!!!」

「ねえ、なんか曲がってきてるよ・・・」

(ゆりかご米の田植え 三方小学校)

子どもの
成長が遅い

子どもに
手をあげて
しまう

しつけが
うまく
いかない

子どもに
イライラする

育てていく
自信が無い

今のあなたの行動や心理に当てはまっていませんか？

子どもが
かわいいと
感じない

子どもが
泣き止んで
くれない

身内が
育児方法に
口を出す

あなたにも知って欲しい

子ども虐待

のこと

出産・子育ての
不安や悩みを
ひとりで
抱え込まないで

皆さんは、5月5日の「こどもの日」に、子どもたちとどのような過ごし方をされましたか。「せっかくの休みなのに、子どもがいるからゆっくりできなかった！」という方もいるかもしれません。

子育ては常に楽しいことばかりではなく、つらくて大変なこともあります。そのストレスが、ときに子どもへの虐待の引き金となっていることも忘れないでください。

今回の特集では、子ども虐待についてご紹介させていただきますので、子育て中の方だけではなく、まわりの方々も虐待のことを理解して、子育ての応援をしましょう。

子ども虐待とは

本来、子どもを守るべき保護者（親や親に代わる養育者）が、子どもの身体や心を傷つけることをいいます。一言に虐待と言っても、子どもへの虐待は大きく4つに分類されます。また、これらが重複して発生していることが少なくありません。

身体的虐待

■後遺症を残したり、あるいは死にいたるケースもあります。

- 首を絞める、殴る、蹴る、投げ落とすなどの暴力をふるう
- 逆さづりにする
- タバコや熱湯でやけどさせる
- お風呂などで溺れさせる
- 戸外に閉め出す など

ネグレクト

■発育や発達が遅れたり、栄養失調や脱水症状などから死にいたるケースもあります。

- 適切な衣食住の世話をしない
- 病気になっても病院へ連れて行かない
- 子どもを家に残したままたびたび外出する
- 子どもを車の中に放置する
- 家に閉じ込める
- 保護者以外の同居人による虐待を保護者が放置する など

心理的虐待

■子どもの心に、不安やおびえを引きおこします。

- 言葉でおどす
- 子どもの心を傷つけることを言う
- 無視したり、拒否的な態度をとる
- 兄弟姉妹間で極端な差別的な扱いをする
- 子どもの目の前で配偶者などに暴力をふるう など

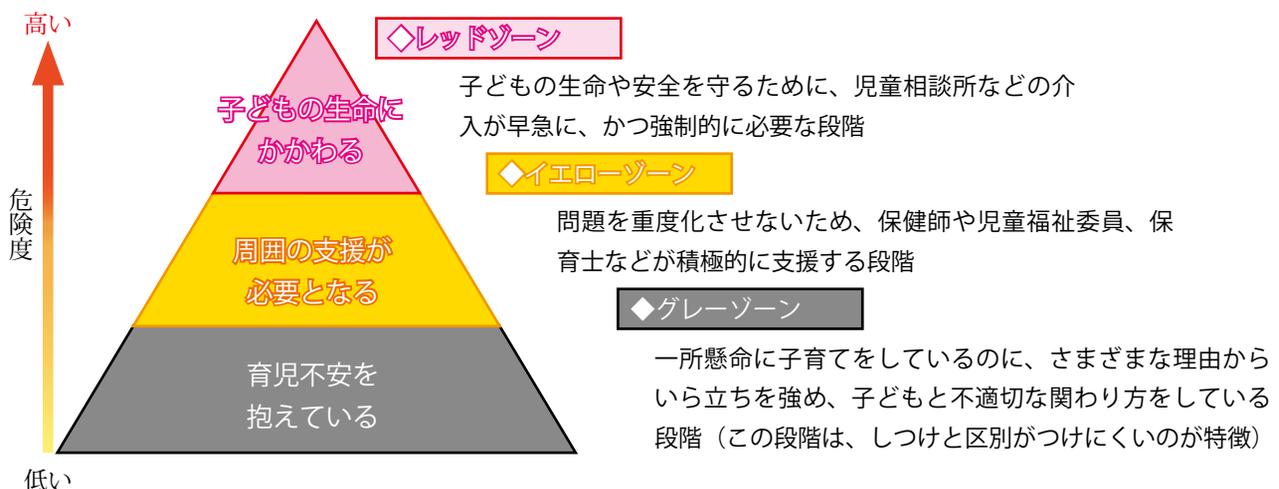
性的虐待

■異性に対する嫌悪感をあたえ、子どもの心身に大きな傷を残します。

- 性的ないたづらをする
- 性的関係を強要する
- 性器や性交を見せる
- ポルノグラフィーの被写体などを子どもに強要する など

虐待のレベル

一言で虐待と言っても、育児不安の段階から生命の危機を含む段階まで、虐待のレベルはさまざまです。明確な線引きはできませんが、気がついた時には次のゾーンに進んでしまい、取り返しのつかないことになってしまいます。



パパ・ママ、それって



しつけとは、基本的な生活習慣や社会のルール・マナーなどを身につけるように働きかけることです。しつけは、子どもの発達や理解度に配慮しながら行っていくもので、暴力などで従わせるものではありません。

体罰の正当化

例 悪いことをしたら叩く



暴力は、歯止めがきかなくなってエスカレートする危険があり、取り返しのつかない事故を引き起こすこともあります。

言葉の暴力

例 ほかにの子と比べて責める



言葉によるおどしは、恐怖感を植えつけ、同時に子どもの自尊心を奪ったり、周りの人との信頼感が育めなくなることもあります。

発達を無視した無理な要求

例 年齢に不相应な早期教育を強要する



子どもの成長や発達にとって好ましくありません。自分から興味を持つようになってからでないと、反対に苦手意識が高まります。

保護者にとっては「しつけ」のつもりでも、子どもにとって有害ならば「虐待」になります。虐待はどのような理由があっても、正当化されるものではありません。

すべての子どもは、愛されるために生まれてきています

子どもは、乳幼児期に十分な愛情を注がれ、愛されていると感じることで、他者への信頼感が育っていきます。その土台として、『自分を丸ごと受け入れ、そして愛してくれる』という親との信頼関係が大切です。

子どもには、それぞれが生まれながらにもった個性があります。その子らしさを尊重し、良い面を伸ばす手助けをしていきましょう。また、発達にはそれぞれ「幅」があり、ひとりのお子さんであっても、発達の早い部分もあれば、遅い部分もあります。ほかの子と比べることはせず、長い目で見守ることも大切です。



心にゆとりをもって
子育てを楽しむ

POINT

♡ まわりの人に上手に頼ろう

子育ては親だけでできるものではありません。祖父母や地域の方などへの協力を積極的に求めましょう。身近に頼れる人がいない場合は、地域の子育て相談窓口などに相談しましょう。サポートのためのヘルパー派遣制度などもあります。

♡ 地域の子育て支援センター などを利用しよう

子育てに関する相談や、子育て支援についての情報を入手することができます。また、センター内に遊び場が設けられていたり、一時保育などのサービスを行っているところもあります。

♡ 家事を頑張り過ぎない

家の中が多少散らかっていたとしても、ときには割り切ることも必要です。特に産後しばらくや子どもが小さいうちは、子どもの昼寝中に家事を済ませようと思わず、たまには一緒に眠って体を休めましょう。



♡ たまには子どもと離れる 時間もつくりよう

子どもと四六時中一緒にいるのは、大変なものです。ときには、子どもを周りの人や一時保育などを利用してリフレッシュすることも大切です。こう言うときは、配偶者が率先して協力してあげましょう。

♡ まわりの方々も理解しよう

子育てをしている方だけでは、どこかで無理が生じます。周りの方々も子育てについて理解を深めましょう。

♡ 子育て仲間をつくりよう

子どもと二人きりでいると息が詰まることもあります。子育ての悩みなどを共有できる仲間がいると心強くなります。ただし、親同士の付き合いが負担になる方は、上手に距離を置いたお付き合いをしましょう。

ひとりで抱え込まないで気軽に相談を

どんな小さなことでも気になることがあるときは、地域の保健所や保健センター、子育て支援センターなどの子育て相談窓口気軽に相談しましょう。相談員や専門職員が、あなたの不安や悩みを解決するお力になります。

●相談・問い合わせ

■福祉課子育て支援室 TEL 62-2704

■子育て支援センター

三方保健センター内 TEL 45-1563

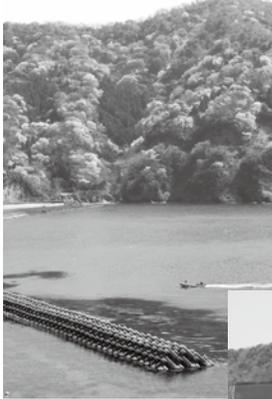
梅の里保育園内 TEL 46-1030

■子ども・若者サポートセンター TEL 62-2705

参照資料：「あなたに知ってほしい子ども虐待のこと」など

まちの話題

※広報紙に「あなた」の写真が写って
いましたらご連絡ください。
写真をさしあげます。
(総務課 TEL45-9109)



◀神子の山桜



▼桜の木の下で
講演する尾花さん



桜の木の下で (4/12)

岬小・三方中学校岬分校の校庭で、「桜陰講演会^{おついでん}」と題した講演会が行われました。

この講演会は、同校がキャリア教育の一環として行ったもので、筑波大学附属小学校などで養護教諭として勤務していた東京都在住の尾花美恵子さんが、歯と目の話や教諭経験などを話しました。

尾花さんは「都会の子たちにとって保健室がひと休みできるところだが、皆さんにとっては、この素晴らしい環境が休めるところ。大切にしたい」と、ふるさとの良さや大切さを呼びかけました。



人権擁護に尽力 (4/12)

三方庁舎で、退任する人権擁護委員に感謝状が授与されました。

退任されるのは、澤本啓一さん（上黒田）と原千津子さん（梅ヶ原）の2人で、退任に伴い、福井地方法務局長と福井県人権擁護委員連合会長から感謝状が贈呈されました。

澤本さんと原さんは、「3年間は貴重な経験。これからも一住民として地域の人と和やかに過ごしていきたい」と話していました。

退任される2人に代わり、岡本嘉樹さん（三田）と久保やす代さん（成出）が、同委員として新たに委嘱されました。

毎年6月1日は、人権擁護委員の日です



▲村田敦賀支局長から挨拶を受ける人権養護委員
(写真左から澤本さん、原さん、岡本さん、久保さん)



後世へ守り伝える精神 (4/15)

102回目の命日となるこの日、佐久間艇長遺徳顕彰式典が行われました。

式典には遺族や海上自衛隊など関係者約300人が参列し、佐久間艇長の遺徳を偲びました。

同艇長は、潜水艇の訓練中に沈没事故に遭い、沈みゆく中であっても取り乱さず、事故の原因や乗艇していた13人の部下の家族を気遣った遺書を手帳に書きとめ、その沈着勇断な行動が国内外で称賛されています。

式典では、町内の有志が編集した艇長の伝記「十二時四十分ナリ」の出版報告もされました。



▲顕彰碑に献花をする地元の小学生



▲春風に揺られ、優雅に泳ぐ鯉のぼり



川の上をスイスイ (4/15)

三方五湖の1つ三方湖に流れ込むほす鱒川に、恒例の鯉のぼりが設置されました。

鯉のぼりは、使わなくなったものを町の皆さんから寄付いただいたもので、この日、鳥浜区の青壮年会の会員と子ども会の児童らが、貝塚公園付近に設置しました。

設置された約40匹の鯉のぼりは、春の風を受けながら優雅に空を泳ぎ、公園に訪れた親子や近くの国道を通る観光客の目を楽しませていました。

ご自宅に使わなくなった鯉のぼりがありましたら、町の観光交流課までご連絡ください。



海の恵みに感謝 (4/16)

恒例のフグ供養が、塩坂越海岸で行われました。

町内の民宿や旅館、ホテルでは、フグが年間約8,500匹消費されており、当地には無くてはならない食材のひとつです。

この取り組みは、フグをはじめとする若狭湾の恵みに感謝し、その御霊を供養することで、これからも観光地として町が発展することを願い行われています。

この日、関係者らが海の恵みに感謝して、塩坂越のお寺で供養を営み、その後、今シーズンの観光客の増加と町を発展を願い、海岸からフグやタイ、ヒラメなどを放流しました。



▲若狭フグなどを放流する関係者



◀現在も高く積み上げられたがれき



絆はいつまでも (4/19)

Proud!
Japan

昨年発生した東日本大震災により大きな被害を受けた宮城県東松島市へ、若狭町からお米や特産品を贈呈しました。

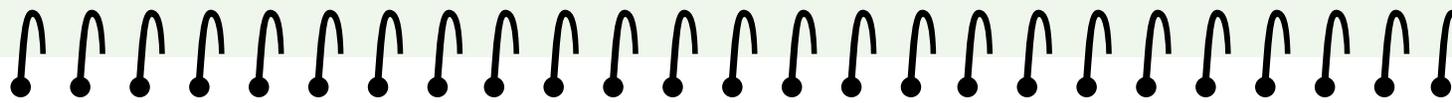
この日、被災地の現状視察を兼ねて森下町長が東松島市役所を訪れ、阿部秀保市長に目録を手渡しました。

今回贈呈した品は、若狭町の米5kg入り360袋、特産の梅干し170g入り360パック、瓜割の水500ml480本で、仮設住宅にお住まいの希望される方へ配られます。

被災地は、現在もがれきが高く積み上げられている状況です。今後とも皆さんの温かい支援をお願いします。

▶阿部市長（写真右）へ目録を手渡す森下町長





▲軽妙なトークで笑いを誘う林家たい平さん



軽妙なトークで爆笑の渦 (4/19)

テレビやラジオなどで人気の林家たい平さんによる落語独演会が、パレア若狭で行われました。

たい平さんは、登場から軽妙なトークで観客を引きつけ、古典落語の「紙屑屋」と「禁酒番屋」、「お見立て」の3席を披露しました。

一見難しそうな古典落語でも、地元のネタなど身近な話題を織り交ぜながら話し、町内外から訪れた約400人の観客は、たい平さんの巧みな話芸にどんどんと引き込まれ、会場は爆笑の渦に包まれていました。



小さくとも大切な命 (4/20)

モルモットの飼育を学ぶ授業が瓜生小学校で行われました。

この授業は、動物の飼育を通じて命あるものの世話や、命の重みについて学ぶことを目的に行われ、県の学校飼育動物モデル校に指定された同校と三宅小学校ではあ、訪問した獣医師からモルモットの飼育方法や抱き方などを教わりました。

初めてモルモットを触る児童は、恐る恐る両手で抱きかかえながらも、「ふわふわしてかわいい」と笑顔を見せていました。

今後は、2年生の児童が1年間モルモットの世話を行い、命の大切さを学んでいきます。



▲モルモットの心臓の音を聴診器で聞く児童ら



◀講演する
大森名誉教授

▶調査結果を報告
する西出講師



協働のまちづくりの推進 (4/21)

住民のまちづくり意識の高揚を図る「若狭町まちづくり大会」が中央公民館で行われ、町内から約150人が参加しました。

大会では、立命館大学政策科学部の西出崇専任講師が、昨年に町内の小・中学生と高校生らを対象に行った定住意識調査の結果を報告し、その後、東京大学の太田大輔名誉教授が住民協働の地域づくりについて講演しました。

西出講師は、「家族が地域の取り組みに参加しているほど、子どもの定住意識が高い」などと調査結果を分析し、また、太田大輔名誉教授は、「家庭で地域の良さを子どもに伝えることが定住や愛着につながる」と話していました。



▲熊川宿に集まったクラシックカー



走る芸術品が集合 (4/24)

近畿地区を中心としたクラシックカーの祭典「La Festa Primavera2012 (ラ・フェスタ・プリマベラ)」が行われ、約50台のクラシックカーが熊川宿を訪れました。

このイベントは、近畿地区の2府5県の名所を4日間にわたりクラシックカーで巡るものです。

今回、熊川宿がスタンプポイントの1つに選ばれ、パリ・ダカールラリーで優勝した篠塚健次郎さんも参加者として同地を訪れました。

熊川宿には、走る芸術品と呼ばれる往年の名車たちが続々と訪れ、一目見ようと沿道に詰め掛けた人たちは、ドライバーたちに声援を送ったり、名車をカメラに収めていました。



▲車両をメンテナンスする参加者



▲運転席に乗せてもらい喜ぶ児童



▲森下町長からチェックスタンプを受ける参加者



▲古い町並みを駆け抜けるクラシックカー



▲展示物を眺める児童ら



ユリ遺跡のムラ (4/28～6/17)

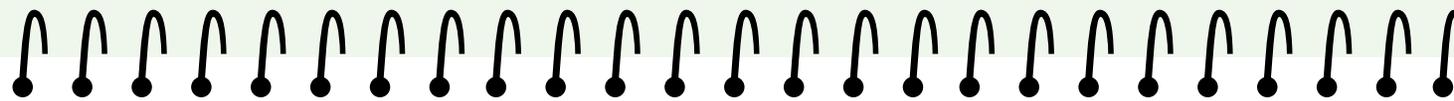
春季企画展「ユリ遺跡展～丸木舟とともに埋れていたムラ～」が、若狭三方縄文博物館で始まりました。

ユリ遺跡は、鳥浜区と向笠区の境付近に位置し、縄文時代の丸木舟が9艘も出土している遺跡です。

今回の企画展では、出土した丸木舟の実物が、初めて展示されているほか、ユリ遺跡の発掘の様子や当時の暮らしなどが紹介されています。

また、入り口には昨年の発掘調査で発見された住居跡と同じサイズの空間がパネルで仕切っており、当時の住居の広さを実感することもできます。

同展は、6月17日まで開催されています。



▲山頂を目指して登る参加者



山シーズンの幕開け (4/29)

三十三間山の山開きが、倉見登山道入り口で行われました。

はじめに、シーズン中の安全を祈願して神事が行われ、祈念登山に訪れた約 350 人の登山愛好家らは、元気良く山頂を目指しました。

下山すると、倉見振舞う会による筍ごはんとはぼた餅が登山者に振る舞われ、登山の疲れを癒していました。

三十三間山は、滋賀県との県境に位置する標高が 842 m の山で、京都の三十三間堂の棟木を切り出した山と伝えられています。また、山頂付近には芝生とススキの草原が広がり、若狭湾や三方五湖、反対側には琵琶湖を望むことができます。



期間中の安全を願います (5/2)

神子トンネル（仮称）工事の安全祈願祭が神子区の工事現場で行われました。

神子トンネルは、県道常神三方線の神子区と小川区を結ぶ、延長 889 m の 2 車線のトンネルで、平成 26 年度に完成する予定です。

この日、約 50 人の関係者が、神事による安全祈願を行い、工事期間中の安全とトンネルの早期完成を願いました。

森下町長は、「トンネルは地元住民の悲願。常神半島には残り 2 か所のトンネル設置を要望しているが、皆さんのご協力を賜り、安全に、また 1 日も早い実現をお願いしたい」と挨拶しました。



▲安全を祈願して鍬を入れる森下町長（写真左）と吉田県議会副議長



◀元気に魚を追いかける子どもたち



こどもの日の民宿も楽しいぞ (5/5)

5 月 5 日のこどもの日に、常神・神子・小川の 3 集落で「朝市・こどもまつり」が行われました。

まつりは、各集落の観光組合独自の取り組みとして行われており、眼前に広がる若狭湾で獲れた魚介類の刺身や味噌汁の振る舞い、鮮魚や干物の直売が行われるなど、前日から宿泊した観光客は、新鮮な海の幸をたっぷり味わいました。

また、こどもの日にちなみ、子どもたちを対象とした魚つかみや抽選会も行われ、プールに放たれたハマチやタコなどを、子どもたちは元気に追いかけて捕まえました。

▶抽選会に集まる参加者





◀正しい乗車姿勢で
路上運転に向かう
児童



▶走る前には
まわりも良く確認



歩く人にも、車にも注意しよう (5/8)

自転車の正しい乗り方を学ぶ交通安全教室が、三宅小学校で行われました。

この教室は、小学生になると自転車に乗る機会が増えるため、児童らに交通ルールを学んでもらい、事故を防止するために警察署と交通指導員協議会が、毎年町内の全ての小学校で行っているものです。

この日、1・2年生はグラウンドで、3～6年生は路上で指導を受け、児童らは「右よし、左よし、前よし、後ろよし」と、大きな声でまわりを確認していました。

自転車は車の仲間です。しっかりと交通ルールを守って運転しましょう。



ゆりかご米をつくるぞ (5/10)

三方小学校の全校児童約130人が、鳥浜区にある水田で田植えを行いました。

この水田では、無農薬でフナやコイも一緒に育てる農法で栽培し、秋には児童らが考えた「ゆりかご米」として販売することを目指しています。

この日は少し肌寒い天候となりましたが、児童らは、元気に5アールの水田に入り、苗を一つひとつ手植えしていきました。

田植えが終わると、フナやコイの卵が産みつけられたシュロと呼ばれる産卵床を設置しました。

児童らは、ゆりかご米の水田を管理しながら、魚の成長も観察し、稚魚は7月頃に三方五湖へ放流される予定です。

←表紙の話題



◀田植えをする
児童ら



▶水田にシュロを
設置する児童



▲選手宣誓する檜鼻選手



球宴いよいよ開幕 (5/10)

町野球リーグの開会式が三方グラウンドで行われました。

昨年までは、春・秋の2シーズン制で実施していましたが、今年からは、ダイヤモンドリーグ（町長杯争奪）とサファイアリーグ（連盟会長杯争奪）が1シーズン制で実施されます。

開会式では、大鳥羽ファイターズの檜鼻貴博選手が、「野球を通じて地域住民との交流を図り、町の活性化を目指して全力でプレーします」と、シーズン中の健闘を誓いました。

今シーズンは、ダイヤモンドリーグに7チーム、サファイアリーグに5チームが出場し、9月まで熱戦を繰り広げます。